

令和元年第9回狭山市定例教育委員会会議会議録

開催日時 令和元年9月27日(金)
午後3時25分から午後4時59分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 向 野 康 雄
教育長職務代理者 吉 川 明 彦
委 員 橋 本 秀 樹
委 員 宮 崎 英 子
委 員 後 藤 邦 江

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	滝 嶋 正 司	社会教育課長	田 中 肇 夫
スポーツ振興課長	五十嵐 和 也	学校教育部長	和 田 雅 士
参事兼教育指導課長	伊 藤 秀 一	教育センター所長	稲 葉 正
学務課長	中 山 昭 夫	書 記	堀 川 清 美

傍 聴 者 数 0名

報告事項

- ・令和元年第3回狭山市議会定例会の概要について

報告者 (生涯学習部長)
(学校教育部長)

(要旨)

会期は、9月2日(月)から9月30日(月)までの29日間であり、議案は、専決処分1件、人事案件5件、新規条例1件、廃止条例1件、一部改正条例8件、事務の委託1件、補正予算4件、市道認定1件、決算認定7件、剰余金処分2件、合計31件である。

一般質問については16名であり、うち教育委員会関係は6名であった。金子広和議員から小・中学校の紫外線(熱)対策について、大沢えみ子議員から公民館の利用拡大について、齋藤誠議員からプログラミング教育及びスクールロイヤー(学校弁護士)について、千葉良秋議員から不登校の防止及びプログラミング教育の推進に関する取り組みについて、高橋ブラクソン久美子議員から資金管理(教育委員会関係)について、笹本英輔議員から体育館について、それぞれ質問があり、それに対する答弁の内容について報告がなされた。

・令和元年度夏期企画展の開催結果について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

博物館夏期企画展「ざんねんな昆虫展～おもしろい！生き物の多様性～」については、6月29日（土）から9月8日（日）までの64日間開催し、延べ26,681人、1日平均約416人が入館し、企画展の中では、過去最多入館者数であった。また、関連事業として、工作教室「夏のまいまい体験講座」のほか、（財）進化生物研究所の協力による「昆虫標本を作ろう」、こども動物園の協力による「昆虫さがし隊 in 夜のどうぶつえん」、東京農業大学昆虫学研究室の学生によるバイオミメティクスのギャラリトークも開催された。なお、アンケートでは、81%の方が、「とても良い」「良い」との回答であった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、入館した折は、9月にもかかわらず、親子連れが多く、とても楽しく学べる企画展であった。子どもよりむしろ大人の方が「おもしろい」とか「こんなだったのか」という声が聞こえたのは、今までの企画展とは異なる点だと感じた。また、昆虫の生態の特性を工業製品や医療器具に活かしているところまで学べた点がよかったところである。アンケートの「改善の必要あり」との意見は、おもしろかったので、さらによければとの気持ちの表れであり、評価が高かった旨の意見がなされた。

・令和元年度秋期企画展の開催について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

博物館秋期企画展「縄文時代のさやまとつなん展」については、9月28日（土）から11月24日（日）までの52日間開催する。友好交流都市である新潟県津南町で出土した火焰型土器や狭山市で出土した土器など約50点を展示し、約5千年前の縄文時代の生活や自然環境などを学ぶことができる。なお、今年7月に市の指定文化財に指定した注口付き壺形土器も展示する。関連事業として、工作教室「秋のまいまい体験講座」のほか、津南町と狭山市の発掘担当者が共演する講演会や「アングイン編み」や「ドッキー作り講座」などを開催する旨の報告がなされた。

・令和元年度狭山市民文化祭について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

9月から11月にかけて、各公民館、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場において、利用団体の発表や展示、模擬店などを行う市民文化祭を開催する旨の報告がなされた。

・令和元年度狭山台プール利用状況結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

7月20日（土）から9月1日（日）までの44日間開設し、利用者数は、小学生以下が2,527人、中・高校生が336人、一般が1,271人、合計4,134人であった。前年度と比べると281人、6.4%の減であった旨の報告がなされた。

- ・ 武道館の整備について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

武道館の整備に関する基本方針に基づき、令和4年の開設を予定している。場所は、市営住宅上諏訪団地跡地に建設するもので、現在、設計業務を行っており、このたび、敷地内の道路の配置並びに平面図・立面図の概要がまとまったので報告するものである。なお、平面図・立面図の内容については、武道団体の代表者で組織する武道館整備検討委員会で十分な検討を行っていただき了承された旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、駐車場の利用可能台数はとの質疑に、40台である旨の答弁がなされた。

- ・ 令和元年度学校総合体育大会等の結果について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

市内中学校の令和元年度学校総合体育大会等の成績について報告がなされた。

- ・ 令和元年度新人体育大会兼県民総合体育大会について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

9月27日（金）及び28日（土）に、陸上競技や野球など各会場で実施される旨の報告がなされた。

- ・ 令和元年度『中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」』夏季集中講義の結果について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

参加人数は、延べ958名であり、アンケートでは、参加してよかった、授業が分かりやすかったがともに89%であり、自由記述欄のコメントをみても生徒たちにとって有意義な時間となったことがうかがえる旨の報告がなされた。

- ・ 令和元年度「狭山市小・中学生英語サマーキャンプ」の結果について

報告者（教育センター所長）

(要旨)

7月22日(月)から24日(水)までの2泊3日の日程で、入間市青少年活動センターにおいて実施した。参加者は、小学校6年生18名、中学校1年生11名、合計29名であった。内容は、日常英会話のレッスン、課題解決学習、グループ学習等であり、食事も含め、語学指導助手とのオールイングリッシュの生活を体験し、最終日は、3日間で学んだ内容を、英語の歌や劇、クイズなどのグループ発表という形で保護者の前で発表を行った。事後のアンケートでは、全員が、英語が好き・楽しい・大切と回答し、英語使用に自信がついたと思う、キャンプで自分が変わったと思うと回答した児童生徒が97%であり、子ども自身の成長がうかがえる旨の報告がなされた。

・令和元年度新体力テストの結果【速報】について

報告者(教育センター所長)

(要旨)

平成29年度から令和元年度までの3年間の市の平均値をみると、年々埼玉県の平均値を上回る項目数が少なくなっているが、これは、県が全国的にも高い平均値を維持又は向上させている状況にあり、市の平均値が大きく落ちているわけではない。狭山市の特徴として、小・中学校とも女子の総合評価が高く、男子が低いという傾向が出ている。また、前年度の市の平均値と比較すると、小学校では、48項目中男子は26項目、女子は24項目上回り、中学校では、24項目中男子は9項目、女子は7項目上回った旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、県平均値より低くなっているが、県平均値が伸びているからという解釈でよいのかとの質疑に、県の平均値が伸びており、市の平均値が年々落ちているというわけではない旨の答弁がなされた。このテストに向けた児童生徒へのアドバイスを行っているのかとの質疑に、学校指導訪問や年度当初のテスト前に、測定の仕方等について、少しでもよい結果が出るよう指導している旨の答弁がなされた。学校間でばらつきが見られるが、より一層の指導を行ってほしい旨の意見がなされた。

・令和元年度スクールカウンセラー活動状況等調査について

報告者(教育センター所長)

(要旨)

スクールカウンセラーは、県費により、小学校15校に対し4名配置され、平均1か月に1回程度、また、中学校8校に対し6名配置され、平均1週間に1回程度学校を訪問している。計画的に親面談や不登校児童生徒の面談を実施している学校もある。4月から7月までの相談実件数は、小学校59件、中学校143件であり、スクールカウンセラーが関わりを持った相談件数は、いじめについては、小学校・中学校とも0件、不登校については、小学校6件、中学校39件である旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、不登校が大変増えているようだが、スクールカ

ウンセラーも対応に苦慮しているのではとの質疑に、不登校問題は、市としても大きな課題と認識しており、教育相談や各学校での相談等の充実を図っているところである。また、学校訪問では、不登校対策として、子どもたちの居場所づくりあるいは魅力ある学校づくりという視点での指導を行っている。不登校の増加に伴い、相談件数も増えているが、スクールカウンセラーにまで至らないケースや家族がそこまで希望しないケースもあり、スクールカウンセラーを増員するところまでには至っていない旨の答弁がなされた。不登校の相談は、スクールカウンセラーまでつなげた方がよいのかとの質疑に、ケースバイケースではあるが、より専門的な関わり方をする方がよいと認められる時は、スクールカウンセラーまでつなげた方がよいと考えている旨の答弁がなされた。子どもたちがより良い学校生活を送れるよう対策を今後も継続してほしいとの要望に、スクールカウンセラーで特に効果があると思われるのは、不登校の児童生徒が死を考えたり、リストカットをするなど重大と捉えられるケースであり、学校側も、スクールカウンセラーのアドバイスを受けることが重要であると考えている旨の答弁がなされた。

- ・令和元年度第1回実用英語技能検定結果（中学3年生）について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

市内中学校の3年生全員を対象に、6月1日（金）に4校、2日（土）に3校で1次試験が実施され、残りの1校は第2回目以降の実施となる。学校を会場とする公費による英検受験の合格率は、2級22.2%、準2級13.9%、3級51.3%、4級46.9%、5級51.5%であった旨の報告がなされた。

教育委員からの質疑等では、英語教育実施状況調査における「英検3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」というのは、どのように把握したのかとの質疑に、国がこのような表現をしており、各学校の英語担当の教諭の判断によるものである旨の答弁がなされた。

- ・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

令和元年度第1回狭山市いじめ問題審議・調査委員会の開催結果について、その概要の報告がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課長）

（教育指導課長）

（要旨）

社会教育課関係 3 件、スポーツ振興課関係 3 件、教育指導課関係 1 件の申請があり、審査の結果、使用許可を行った旨の報告がなされた。

議 案

議案第 4 0 号 狭山市立幼稚園授業料徴収に関する規則を廃止する規則

子ども・子育て支援法等の改正による幼児教育・保育の無償化に伴い、狭山市立幼稚園の授業料を無償とするため、狭山市立幼稚園授業料徴収に関する規則の廃止を狭山市長に依頼するため、提案がなされたものである。

議案第 4 0 号については、原案可決した。

議案第 4 1 号 狭山市立幼稚園授業料減免に関する規則を廃止する等の規則

子ども・子育て支援法等の改正による幼児教育・保育の無償化に伴い、狭山市立幼稚園授業料に係る規定を削除するため、提案がなされたものである。

議案第 4 1 号については、原案可決した。

議案第 4 2 号 令和 2 年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和 2 年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について

埼玉県教育委員会から、令和 2 年度当初教職員人事異動の方針が示されたことから、令和 2 年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針及び令和 2 年度当初狭山市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項を定めるため、提案がなされたものである。

議案第 4 2 号については、原案可決した。

以 上